

目標達成計画

作成日: 平成 29年 6月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者の外出頻度にバラつきがあり、地域の方との交流が少ない。また、人間関係も施設内の利用者や職員との関わりがほとんどであり、地域住民とのかかわりが少ない。	利用者の外出の頻度を把握して、入居者全員が施設内に閉じこもりにならないように計画的に支援をして行きたい。また、職員や家族以外の人間と関係性が構築できるようにサロンや地域行事への参加を日常化させていきたい。	介護記録の書式に、連続して外出していない日数を記録していくことで、閉じこもりによるQOLの低下や、認知症状の悪化を防げるようにしたい。また、地域の行事や施設内のサロン活動にも定期的に参加してもらえるような計画を実施して行きたい。	6ヶ月
2	33	契約書、重要事項説明書、意向伺い書の書式の見直しがされておらず、文言が古い表現であったり、利用者の意向を伺うというよりも、ケアの考え方を理解してもらうことに重きを置いているような書面になっている。	様々なケースや人生観を想定して、利用者が自分の生活や最期のあり方を選択できるような書式に変更していきたい。また、職員一人一人が契約内容や具体的な利用者の希望を把握出来るように、普段のケアから真のニーズを引き出せるような関わりを目指す。	法人内のグループホーム管理者と打合せを行い、共通書式のあり方について議論していきたい。また、契約の説明方法や意向の伺い方など、グループホームの担当職員に必要な技術を学べるように定期的に学習をして行きたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。